

女性たちの「社会認識」の 交流秘史

基調講演

湯澤 規子 (法政大学人間環境学部)

指定討論者

岩宮 恵子 (鳥根大学)

桑原 知子 (京都大学名誉教授・放送大学特任教授)

日時

2025年
6月21日(土)
13:30 ~ 16:30
[受付開始 12:30]

日本ユング心理学会第13回大会のプレコンgressを一般公開プログラムとして開催いたします。多くの方に広くご参加いただけますよう謹んでご案内申し上げます。

本大会のプレコンgressでは、法政大学人間環境学部の湯澤規子先生に『女性たちの「社会認識」の交流秘史』というタイトルでご講演いただきます。著書『焼き芋とドーナツ:日米シスターフード交流秘史』(KADOKAWA刊)は、第12回河合隼雄学芸賞受賞作で、「日米で産業革命に直面した女性たちが描いた夢と日常生活実践を克明に描き出した秀作」という言葉が受賞理由として紹介されています(一般財団法人河合隼雄財団HPより)。

ユング心理学において女性、あるいは女性性は、生物学的な男女の差異を超えて、たいへん重要なテーマです。このことは、河合隼雄が「鶴女房」や「うぐいすの里」等の日本の昔話について考察するなかで、「女性の意識」に着目したことにもよく示されています。

このようなことを踏まえ、地理学・歴史学・経済学がご専門の湯澤先生に「女性の意識」をキーワードにご講演いただきます。西洋近代的な「自我の意識」とは異なる「女性の意識」について考えを深めることは、日本におけるユング心理学、そしてユング派心理療法の深化・発展のためには、必要不可欠であると言えるでしょう。

◆ 講演者紹介: 湯澤規子 (ゆざわ のりこ)

法政大学人間環境学部教授。筑波大学大学院歴史・人類学研究科単位取得満期退学。博士(文学)。明治大学経営学部専任講師、筑波大学生命環境系准教授を経て、現職。「生きる」をテーマに地理学、歴史学、経済学の視点から、当たり前の日常を問い直すフィールドワークを重ねている。主な著書に『在来産業と家族の地域史 ライフヒストリーからみた小規模家族経営と結城紬生産』(古今書院)、『胃袋の近代 食と人びとの日常史』(名古屋大学出版会)、『焼き芋とドーナツ:日米シスターフード交流秘史』(KADOKAWA)など。

会場 オンライン: Zoom

オンライン: Zoom

オンライン参加

250名

(先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加費 2,000円

オンライン参加

無制限

対象: どなたでもご参加いただけます

申込方法

1. 当学会ホームページ(<http://www.jajp-jung.info/conference.html>)及び、右記コードの申し込みフォームよりお申し込みください。申し込みが完了しましたら自動返信メールが送信されます。(パソコン・スマートフォン対応)



※当日参加受付はいたしませんので、事前のお申込みをお願いします。

◎ 臨床心理士ポイント

同日午前中のワークショップと当プレコンgressへの参加で、ポイントの取得が可能です。詳細は当学会ホームページ(<http://www.jajp-jung.info/conference.html>)にてご確認ください。◎ 申込先: 日本ユング心理学会 (JAJP) 事務局
office@jajp-jung.info郵便振替口座: 00980-2-195483
加入者名: 日本ユング心理学会年次大会

JAJP